

市議会だより



6月定例会・議長、副議長挨拶 P2

予算常任委員会・議員賛否 P3

一般質問 P4～11

総務文教常任委員会 P12

市民福祉常任委員会 P13

産業建設常任委員会 P14

新規採用職員傍聴感想・常任委員会構成 P15

人事案件・初議会を終えて・編集後記 P16

☐笑顔がいっぱい 元気な園児たち
「ひのきないこども園の七夕会」

5月臨時会（5/11）において仙北市議会改選後の議長・副議長選出される



仙北市議会議長 黒沢 龍己（再任）
不偏不党・公正無私の立場を堅持

去る5月11日に開催されました選挙後、初の臨時会におきまして、再び、議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄であり、重責の重さに身が引き締まる思いです。議会運営につきましては、不偏不党・公正無私立場を堅持して参る所存でございます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、まだまだ油断することはできません。私たちの生活を一変させた、コロナウイルスですが、新しい生活様式として基本的な感染予防対策をしっかりと継続しながら、社会・経済活動を再開するなど、ウィズ・コロナでこの難局を共に乗り越えましょう。

国や県、関係機関等へは、さらなる要望活動を強化しながら、限られた予算の中で、市民の皆様からのご要望にお応えするために、誠心誠意努めて参ります。

もとより浅学非才でございますが、市政の推進と議会の円滑な運営のため、懸命の努力を傾注する所存でございます。今後とも、皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



仙北市議会副議長 熊谷 一夫（再任）
議員力を磨き議会力向上を

この度、臨時議会において、議員各位の推挙により副議長に就任いたしました。

仙北市の未来のために、議長を支えながら山積する課題解決に、全力で取り組んでまいります。

議員が16名となり、議員一人一人に課せられる責任と期待感は重く、大きくなりました。

地方分権時代を迎え、議会力を向上させていくには、個々の議員力をアップさせていく事が重要不可欠であります。

議員力とは、「政策力・発信力・拡大力・現場力」の四つに集約されます。市民が何を求め、何を望んでいるかを的確にとらえ、広報・SNS等で発信し、地域住民や町内会等多くの人々と交流して絆を深め、徹して現場に入り、現場の声を聞き、問題を解決していく。

議員力を磨き、議員間討議を重ねながら、市民に開かれた議会力向上と市民の幸福のために努力してまいります。今後とも、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



— 第4回（6月）定例会 —

一般会計補正額 4億2,228万5千円を可決 累計208億5,665万3千円に

5月の市議会改選後、初めての定例会が6月2日から6月24日までの23日間の会期で開催されました。新型コロナ経済対策費などを盛り込んだ令和4年度一般会計補正予算、生保内に居住する新副市長の住宅手当給付に関する条例案など、報告関係4件、条例関係1件、予算関係5件、その他1件、人事関係4件、議員提出意見書1件の計16件が審議されました。議会初日には、倉橋副市長の任期満了での退任に伴う、副市長の無記名投票が行われ、秋田市の赤上陽一氏を副市長に選任しました。また、令和4年度の一般会計補正予算は、4回目の新型コロナワクチン接種費用や市内の経済支援として、プレミアム商品券及びプレミアム土産券の発行経費、原油価格高騰の経済対策費及び第三セクター経営統合に係る経営コンサルへの業務委託費などが可決されております。最終日には、議員提出議案として、水田活用の直接支払交付金の見直しについて、国に白紙化を求める意見書を採択しました。

第4回定例会
可決・同意・
採択された議案

- ◇令和4年度仙北市一般会計補正予算（第2号）
- ◇財物事故（落雪等による建物破損事故）に係る和解及び損害賠償について
- ◇令和4年度仙北市一般会計補正予算（第3号）
- ◇令和4年度仙北市介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- ◇令和4年度仙北市生保内財産区特別会計補正予算（第1号）
- ◇仙北市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇令和4年度仙北市一般会計補正予算（第4号）
- 意見書「水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直し方針について白紙化を求める意見書」
- 仙北市副市長の選任につき同意を求めることについて
- 仙北市固定資産評価員選任につき同意を求めることについて
- 仙北市田沢財産区管理委員選任につき同意を求めることについて（2人）

長引くコロナ禍や物価高への経済対策&生活支援事業が可決される!!

令和4年度一般会計補正予算（第2号・第3号・第4号）の主な事業

4回目のコロナワクチン接種事業費	2,549万円	4回目のワクチン接種に係る費用（60歳以上は全員対象。18歳～59歳の持病のある人が対象）
住民税非課税世帯等への臨時特別給付金	7,508万円	住民税非課税&家計が急変した世帯に10万円を支給
子育て世帯生活支援特別給付金	3,512万円	低所得の子育て世帯に子ども1人5万円支給（ひとり親世帯及び住民税非課税世帯が対象）
低コスト技術等導入支援事業補助金	2,785万円	スマート技術を活用した機械を導入する農業法人への助成
仙北市民プレミアム商品券事業費補助金	6,800万円	千円券13枚を1万円で販売。市内の店舗で利用可能
仙北市原油価格高騰緊急経済対策補助金	6,054万円	原油価格高騰に苦しむ事業者を支援
仙北市プレミアム観光支援事業費	4,670万円	市外の人向けに土産券5千円分を3,500円で販売
仙北市学校給食応援事業費	2,513万円	小・中学校の給食費を無料化（7月から10月まで）
第三セクター経営改革推進事業費	638万円	9/1に延期された三セク4社の経営統合に向けたコンサル料

本会議・予算常任委員会での主な質疑

仙北市プレミアム商品券の事業費をなぜ3割も減額したのか

質問 3年連続となる商品券の発行で、購入した市民は必ず市内の店舗で利用するため、経済効果が大きい事業であるが、昨年度より事業費を3割も減額した理由は。（商品券の発行数は1万冊減少する。）

答弁 令和2年度及び令和3年度の第一次販売実績がいずれも約2万冊だった。第二次販売で、計画した3万冊は、ほぼ完売したが、令和4年度の発行数は、過去2年の第一次販売実績である2万冊とした。

仙北市原油価格高騰緊急経済対策補助金とは
質問 補助金の対象者や何に對して、どれくらい補助するのか事業の内容について伺う。

答弁 仙北市内に住所を有する事業者（農業は法人または青色申告者）で、決算期の売上が前年若しくは前前

年と比較して20%以上減少、または、令和4年1月から6月までのいずれかの1ヶ月の売り上げが前年若しくは前前年と比較して20%以上減少している場合に、昨年1年間のガソリン、灯油、重油、電気、ガス代の合計額の1/10（上限20万円）を補助する。

物価高騰による学校給食への影響はないのか

質問 仙北市学校給食応援事業の内容を伺う。また、物価高騰による食材調達への影響があると思われるが、給食費の見直しなどは考えていないのか。

答弁 長引くコロナ禍の子育て世帯を支援するため、小・中学校の7月から10月までの60日間給食費を無料にする。食材が高騰しているが、献立作成を工夫するなどして調整している。現時点では、給食費の見直しは想定していない。

議決結果/議員賛否 令和4年 第4回 仙北市議会定例会(招集日:令和4年6月2日 最終日:6月24日)

凡例：賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件名	会派及び氏名	議決月日	議決結果	賛否															
					畜生会	公明党	共産党	無会派												
					小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	青柳宗五郎	門脇晃幸	熊谷一夫	平岡裕子	田口寿宜	高久昭二	荒木田俊一	中村和彦	小田島広仁	西宮三春	澤田雅亮	
議案第57号	仙北市副市長の選任につき同意を求めることについて		6/2	同意	賛成多数(単記無記名投票)・賛成13 反対1										欠					
議案第62号	令和4年度仙北市一般会計補正予算(第4号)		6/24	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。



仙北市でのヤングケアラーの現状は

蒼生会 門脇 晃 幸 議員

市長

深刻な事例はないと認識している

ヤングケアラーについて

質問 仙北市ではどのような現状なのかについて伺う。

答弁 令和3年度に文部科学省がアンケートを行っており、仙北市の各校が回答している。ヤングケアによる不登校や、休みがちな児童生徒などの深刻な事例はないものと認識している。

質問 国や県の動向を踏まえ、仙北市の今後の対応を伺う。

答弁 まだ世間一般での認知度が低く、家事や家族の世話が日常となっている子ども自身も自覚がなければ、周囲に悩みを打ち明けることがほとんどなく、表面化しづらいと



■定義が曖昧で把握が難しいヤングケアラー

いう側面も深刻である。認知度を上げ、子どもが相談しやすい環境づくりを進める必要があると考えている。国や県と連携しながら、実態調査をしっかりと行い、情報を収集していきたい。

質問 国では、文部科学省と厚生労働省の両方で対応しているが、市では、教育委員会と市民福祉部が対応しているか。

答弁 (教育長) 子どもとの信頼関係を構築して、何でも学校で悩みを相談できる体制が大切と考える。今後も市の福祉と共に、そして他の機関とも連携し、子どもの情報をつかみながら、サポートしていきたい。

答弁 (市民福祉部長) こども

家庭庁などの国の動きもあるので、市民福祉部も第一義的に関わっていききたいと思っている。

第三セクターの再編について

質問 平成23年7月から三セクの4社について、経営コンサルタントによる経営診断に着手し、経営改善策や、新たな役割の可能性について提案頂き、今後の在り方を早期に検討するとしていた。内容と経緯を伺う。

答弁 平成23年の経営コンサルからの提案は、統合することだった。しかし、現場から単独での経営を望む声が多いことや、統合に向けてクリアしなければならない課題が多いこと、また、新たな取り組みとして民間企業からの増資による経営基盤の強化、4社の経営課題や財務状況等の情報共有などの対応策が示されたため、当面は4社単独で、経営目標の達成に向けて成果を見極めることとした。

質問 山田コンサルの報告を基に、市は三セクの再編案を作成したが、山田コンサルの報告はもっと厳しい内容ではなかったのか。

答弁 経営分析をした現状は大変厳しい状況にあるが、市としては、全ての施設を存続させる前提での分析をお願いしており、最大限それぞれの施設の強みを生かした形、弱みを補完する形で統合していくべきだという見解だった。プールなどの福祉的な部分もあるが、市の指定管理料を入れても厳しい現状だが、4つの施設を残していく統合案を進めている。

質問 この再編案は決定ではなく、今後変更もありうる。としているが、特段の議論がない限り再編案は計画として遂行されていくのか。また、それぞれの三セクの執行権者やスタッフによる事業再編を検討する予定はないのか。

答弁 今後については、統合した新会社の経営陣が、あらためて事業を精査し、経営計画等を策定することになる。新会社の社員の皆さんとの意見交換も必要であると思うし、私もそこに関わってきたい。今働いている人たちが、より幸せになっていただくような統合を目指していきたい。

(西宮三春記)

用語解説

・ヤングケアラーとは…病気や障害のある家族の世話を日常的に行っている子どものこと

少子化に歯止めをかけ 婚姻率・出生率を高めるには

公明党 熊谷一夫 議員



市長

女性が安心して働ける企業の誘致を 在任中に実現したい

学校施設のZEB化 の推進について

質問 地球規模での環境問題への取り組みであるSDGsや、2050年カーボンニュートラル達成に向けての取り組みが急務である。そのためにも公共施設の中で大きな割合を占める学校施設の「ZEB化」が必要である。仙北市の学校施設長寿命化への現在の進捗状況について伺いたい。

答弁 学校の長寿命化の改修工事は、多額の費用が見込まれるため、令和8年度までに、学校適正配置計画を策定し、統合、再編等と一体で増改築、新築等を考えていくこととした。それまでの間は、劣化が見られる屋根や外壁等の修理を行っていく予定である。

質問 学校施設のLEDや二重サッシといった、部分的な「ZEB化」事業も国の補助対象になるので、有効に活用してはどうか。

答弁 現在、学校施設環境改善交付金に係る、令和5年度の概算要求資料を、県を通じて文科省に提出している。採択されれば、9校のトイレの洋式化や、11校の体育館の

LED化が施工できるので、採択を強く願っている。

アルパこまくさの営業時間の見直しを

質問 自然ふれあい温泉館（アルパこまくさ）の営業が第三セクターから市の直営に変わり、営業時間が10時から16時と短くなった。受付は15時30分で終了であり、常連の市民や観光客の方々から、多くの苦情が寄せられている。現在の営業時間を妥当と思うか伺う。

答弁 今年度から、市の直営となり、営業時間を知り、私も妥当だとは思っていない。市直営となり、会計年



■アルパこまくさ露天風呂からの景色

度任用職員制度の下での勤務時間の制約や売上品管理等の課題、利用者が減少し、老朽化や燃料費高騰等により、管理経費は上昇しているという経費面の課題がある。これらの課題を検討し、比較的登山者利用の多い時間帯を優先させた結果、現在の営業時間となった。

質問 市民からは、対応が非常に事務的だったとの話も耳にすれば、役所目線ではなく、民間目線、市民目線で営業時間の見直しを行うべきと思うがどうか。また、今後、市直営の運営を継続していくのか伺う。

答弁 市の直営になって、「営業時間が短くなった。」「サービスが悪くなった。」となれば、お役所仕事と評価されてしまう。今後は、少しでも営業時間を延ばせるように、会計年度任用職員の増員を検討している。また、令和5年度までは、市直営で収支等を分析し、令和6年度からの民間事業者等の運営を考

えている。

少子化対策について

質問 少子化の現状と傾向をどう受け止め、どう歯止めをかけていくのか。また、今後の婚姻率、出生率を高める施策はあるのか。

答弁 令和3年度の出生数は75人であり、危機的な状況と捉えている。少子化に歯止めをかけ、婚姻率、出生率を高めるには、結婚、妊娠、出産及び乳児期を中心とした、子育てに対する寛容の高い社会を実現すること。そして、安定的な収入を得られる、特に女性が安心して働ける、働きたいと思える企業の誘致が最重要課題と考えている。この企業誘致は、私の市長在任中に実現したい。

(小田島広仁記)

用語解説

・ZEBとは…建物で消費する年間のエネルギーの収支ゼロを目指した建物のこと



日本共産党 平岡 裕子 議員

加齢性難聴者の補聴器購入助成の実現を

市長 必要性は十分感じているので早期に予算化する

高齢者の積極的な社会参加のためにも補聴器購入助成を

質問 補聴器購入助成の一般質問は3回目になる。市ではアンケート調査も実施し、市民の要望に応えるべく、助成の要綱等も検討されていた。2回目の質問に門脇前市長は、「令和4年度には実現したい。」と答弁したが、予算化されていない。事業実施できなかつた理由を伺う。

答弁 前市長から、補聴器助成の引継ぎはなかつた。市長に就任してすぐに、令和4年度の当初予算の査定が始まり、厳しい財政を立て直すという覚悟が強く働き、新規事業への予算措置を見送つた経緯がある。

質問 令和4年度に助成すると言つたのは前市長の行政、予算措置は現市長の行政となる。行政運営の連続性についての所見を伺う。また、補聴器購入助成について、実現はいつになるのか具体的に伺う。

答弁 前市長の答弁は、市としての答弁だと捉



■購入助成の実現が待たれる補聴器

えている。当然、私も責任を引き継ぎ実現に向けて、取り組んでいきたいと考えている。私の祖父は、両耳に補聴器を着けていたので、補聴器の必要性は十分に感じている。購入の助成については早期に予算化する。

子育て支援と教育費負担軽減の更なる充実を求めて

質問 昨年の出生数は、100人を大幅に下回つた。子育てへの思い切つた施策が必要ではないか。

①0歳から2歳児の保育料の無料化

②保育園での使用おむつ無償配付

③誕生から1歳までのおむつ無償配付

④在宅子育てサポート事業、プランの見直し（対象年齢引き下げ＆おむつ購入可に）

⑤就学援助内容に眼鏡、コンタクトレンズも該当に

⑥学校給食の無料化

答弁 子育て支援の必要性を痛感している。大切な子どもたちを全力でサポートしたい。

①0歳から2歳児の保育料は、所得による助成などで約56%が実質無料となつているが、他市町村の施策も参考に、助成割合の引き上げを検討したい。

②現在のところ検討していない。使用済みおむつの持ち帰りの解消を検討中である。

③誕生祝い金と児童手当で23万円の経済支援がある。

④対象年齢の引き下げや育児用品の購入拡大は、今後検討したい。

答弁（教育長）⑤現時点では、眼鏡、コンタクトレンズは考えていない。

⑥今年度は、7月から10月までの児童生徒の給食費を減免する。今後も対象となる交付金の活用など、市当局との連携により、保護者負担の軽減を検討していく。

冬期間の安心安全生活道路の確保を

質問 昨冬は、明け方の降雪が多いためか、除雪車が出動せず、通勤通学に支障があつたとの苦情を聞いた。深夜でない除雪車が出動できないければ、何らかの対策が必要ではないか。また、燃料の価格が高騰しているが、今年度の除雪費に十分な経費が確保できるのか。

答弁 仙北市は、除雪範囲が広く、23時での出動判断となることにご理解を頂きたい。明け方の降雪対応については、引き続き検討していく。また、除雪費については、燃料価格がもつと上がる可能性もあり、経費のかかり増しが想定されるので、それに備えて財源措置を確保していきたいと考えている。

（中村和彦記）

老朽化が著しい市民会館を 今後どうするのか

田口 寿宜 議員



市長

文化の拠点であり財源を確保し 何らかの形で継続させたい

仙北市民会館老朽化 による安全性と今後 について

質問 文化芸術活動及び、市民活動の拠点である仙北市民会館が42年目を迎えた。この間、外壁や天井等、耐震工事は実施したが、5年前の私の一般質問に対し、「吊り物の更新を最優先に、電気設備、舞台照明等について順次計画していく。」と答弁された施設整備に関しての進捗状況を伺う。

答弁（教育長） 仙北市民会館の整備と存続は、もともと重要な案件と捉えており、市長部局と同施設の必要性を高く共有し、現場説明も含め複数回打合せを行っている。施設の改修に莫大な経費が必要となることから具体的な実行計画まで至ってはいいないが、現在、財源確保のため、あらゆる手法で模索しているところである。

質問 私もメンバーである「仙北市民会館在り方検討会」から、11項目の具体的な改善内容を明示した提言書を



■吊り物等の老朽化が心配な仙北市民会

提出している。この提言書を受けての市としての考えを伺う。また、市民会館を将来に残していくために、計画的な部分改修、あるいは大規模改修、思い切って建て替えなど、どの道を選択して未来に受け継いでいくのか伺う。

答弁（教育長） 提言書は、市長部局とも共有している。市民会館は、将来へ残すべき施設であり、重要な施設として位置付けている。改修、建て替えのいずれにしても、財源の確保が喫緊の課題であり、調査研究している。文化水準を上げる活動のパロメー

ターとして、平福記念美術館や新潮社記念文学館と共に、市民会館も仙北市の文化の拠点として、何らかの形で継続させていきたいと考えている。

地域の宝「いぶりがっこ」の販売に支援を

質問 改正食品衛生法が施行され、漬物製造業に営業許可が必要となり、令和6年5月までの猶予期間に整備を整えなければ、これまでのように、いぶりがっこを誰でも気軽に販売できなくなる。今後、いぶりがっこ販売を続けたい方々に、県の補助金の周知を図ると共に、市として独自の支援を行っていくべきではないか。

答弁 今年度の当初予算で、農業夢プラン型戦略作物等生産基盤拡大事業に、漬物加工所施設整備1件が予算計上されている。仙北市では県の補助金3分の1に加え、6分の1のかさ上げ補助金を支給する。漬物加工



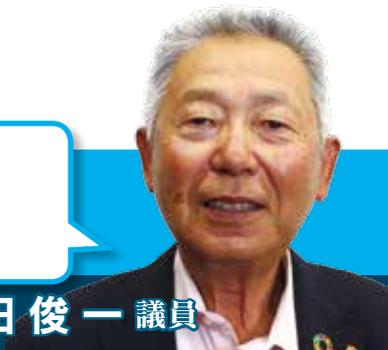
■漬物文化を守るためにも市の支援を！

所の施設整備は、令和6年5月まで整備が必要であることから、補助事業等の周知を図り、安全・安心な漬物づくりの環境を整え、農家の支援に努めていく。

質問 現在、20〜30のグループや個人が、いぶりがっこを販売していると聞いている。市として、この方々が今後どうしたいのかをしっかりと把握して、販売を続けたい方々に対し、市はどう対応するのか。

答弁（農林商工部長） 安全・安心な漬物作りのために、今後、漬物製造施設の整備等について要望調査を実施し、事業を継続される皆様には、可能な限り、来年度の予算で支援したい。

（澤田雅亮記）



荒木田 俊一 議員

三セク経営統合の遅れは
計画がずさんだったのではないか

市長 見通しが甘かった 大変申し訳なく思っている

第三セクター経営統合の遅れを問う

質問 統合に向けた予算が議会で承認され、1年も経たないのに計画が遅れたことは、コンサルも含め、ずさんな計画だったのではないかと。また、統合が遅れることで、運転資金や新たな経費が発生するのではないか。

答弁 三セク4社の株主と取締役への説明や新会社の社長の人選、法人化のための官報への公告及び税務上の手続きに日数を要す。見通しが甘く、大変申し訳なく思っている。9月1日の統合まで資金不足にはならない。

質問 市民から、クリオンの宿泊施設存続の要望書が提出されているが、どのように向き合っていくのか。

答弁 4施設すべてを存続させたいが、人口減少等で、これまでと同様の事業は難しい。新経営陣が、コンサルの分析を参考に、各施設の事業を計画することになる。私も取締役として経営に拘るし、三セクの責任は、すべて市長にあると思っている。

水田活用の直接支払交付金の見直しへの対応は

質問 仙北市での、交付対象外となる農地の面積と、交付金の減額はどれくらいを想定しているのか。また、対象外となった農地をどのように活用していくのか。

答弁 交付対象外となる農地は、そば、大豆、牧草、調整水田の合計で1,229.6haであり、1億6,544万5千円の減額見込みである。

交付対象外となれば、離農や耕作放棄地が増えるという認識をもち、市として、しっかりと取り組んでいく覚悟である。

質問 県でも反対要望しているが、仙北市も隣接市町村と歩調を合わせて要望活動するべきではないか。

答弁 仙北市は、佐竹知事及び県内の市町村と共に、農林水産省に反対を表明して要望活動していく。

若年層が就職や移住で仙北市に定着できる取り組みについて

質問 若い人たちの働ける場

所があって、出会いがあって、子育てができる環境を充実させることが、仙北市の人口減少の速度を緩める施策と考えるが、市の取り組みはどうか。

答弁 私も若い方々が定住する施策が重要と考えている。県内は勿論のこと、県外で学ぶ学生にも、地元企業の魅力と求人

情報を詳しく届けたい。また、特に若い女性が働きたいと思える企業の誘致を私の任期中に実現したい。

質問 就職や移住で仙北市に定着された方々に感謝の意を込め、市を挙げて歓迎するようなことをしたらどうか。

答弁 県外出身者とのご縁を繋げていけるようなイベントを検討したい。

仙北市の機構改革について

質問 行政組織にとって、機構改革は大事であるが、今年度は、〇〇室、〇〇班がやたらと増えて、市民は何をする



■5年に一度は水張り（水稲作付）が必要となる交付金対象の麦畑

ところなのかわからない。名前にこだわらず、仙北市の重点課題に迅速に対応して、成果を市民にしっかりと示すことが重要ではないか。

答弁 確かに室・班が多くなったが、行政のデジタル化や火除け設置の専門部署を設け、仙北市の覚悟を示したかった。市民に対しては、その意義についてもご理解いただけるよう努めたい。また、事務事業評価も進めており、これまでの事業をしっかりと評価したうえで、仙北市の重点課題に対応できる事業を精査していきたい。

(高橋輝彦記)

財政難の中 市民サービスの向上を図る施策は

高久 昭二 議員



市長

市民が必要とする 政策や予算を振り分けられるよう行政改革を進める

傷んでいる市道・橋の整備計画は

質問 痛んだ道路を放置すれば、交通上危険な事態が発生しかねない。当初予算で道路維持費はいくらか。また、横町橋や内川橋は、市の交通手段上、重要な役割を果たしている。大規模改修前に補修を行うことはできないか。

答弁 市道の舗装補修は、舗装の長寿命化を図る点から、年3回のパッチング工事や直営による穴埋め等随時実施している。道路改良工事や舗装の打替え工事についても、優先順位を勘案しながら、計画的に進めている。内川橋は、老朽化が進んでおり、早急な改修等の措置が必要と考えている。

答弁 (建設部長) 令和4年度の道路維持費予算は、約4,800万円である。不足が生じた時は補正対応をしている。内川橋については、令和3年度に、橋りょうの補強・補修設計、詳細設計を実施している。今年度は、工事の着手に向けて各種事業者との協議及び交通量調査を実施する。できるだけ早い着手に努めたい。

市税徴収の改善と市遊休不動産の処分と収入増を

質問 納税相談は窓口対応となっているが、新たに納税相談コーナーを設けることはできないか。

答弁 (税務課長) 庁舎の関係上、設けていないが、状況に応じて会議室の使用や、場合によっては自宅を訪問するなど対応をしている。

質問 市民に対する特別徴収専門員の対応が、威圧的で脅しと捉えられるような言動があったという声を聞くが、改める意思はあるのか伺う。また、滞納額が多い方に、催告状を出した後、予告なしで差し押さえをする事例があった。お詫びする必要があるのではないか。

答弁 威圧的な言動による徴収は言語道断である。今後しっかりと指導していききたい。

答弁 (税務課長) 滞納を減らすことは、市の財政を楽にし、市民生活も楽になるので、市税の徴収に努力しなければならぬ職務上の義務がある。心を鬼にして対応していることをご理解いただきたい。威

圧的な態度や権限を過度に行っている場合は、その都度ご指摘をいただきたい。

差し押さえについては、予告通知の必要がないことを認められている。財産調査をしていくと、多額の預金や、多額の保険を掛けているのが見受けられるので、その際には、スピード感をもって差し押さえをしていることのご理解を願いたい。特にお詫びをする予定はない。

質問 市の遊休不動産は、収入が得られず、維持管理費がかかる。収入を得られるような対策をとるべきではないか。

答弁 遊休不動産をいくらからでも売却して、厳しい財政の中で、市の財源とするのは正しい選択だと思いが、なかなか買手がつかない状況にある。

田沢湖神代黒倉遺跡群の出土品の活用を

質問 黒倉地域住民の方の中には、農耕や作業等の時

に、出土した土器、化石その他の貴重なものも保存している方がおり、後世に伝える手立てを模索されている。展示や小・中学校の歴史教材として活用できないか。

答弁 展示可能であれば、市民のみならず見られる形で、展示できるように検討したい。

答弁 (須田教育長) 郷土の事を学ぶことは非常に重要な事であり、実感・体感する授業を前向きに検討したい。

(平岡裕子記)



■市民はお客様。丁寧な窓口対応を心掛けています



蒼生会 高橋輝彦 議員

角館総合病院の再診察の待ち時間の改善を

市長

改善策を模索しながら
経営改善の一環として取り組んでいく

投票環境の整備について

質問 バス等による移動期日前投票所の導入は考えているのか。また、投票所までの送迎については。

答弁 (選管事務局長) 移動式期日前投票所で使用する、無線の専用回線を利用した選挙人名簿対照オンラインシステムの導入を検討している。これにより、場所にとらわれず選挙人名簿の対照が可能となり、バス等による移動式期日前投票所や当日の共通投票所の設置が可能となる。令和7年秋田県知事選からの導入を目指したい。

移動式期日前投票所の導入と共に、当日投票所までの巡回など、選挙人の移動支援の施策も検討したい。

質問 選挙公報について、告示日の発行は出来ないのか。

答弁 (選管事務局長) 選挙公報の掲載申請の締切りが告示日の午後5時までとなっているため、告示日の発行は困難である。

第三セクター経営統合について

質問 三セク4社の従業員

は、統合後の新会社の事業再編等が定まらないなかで、雇用体系に関して不安な気持ちで仕事をしている状態だが、各社の社員への三セク合併の説明は実施しているのか。

答弁 経営統合に関する状況については、各施設の現場責任者を通して社員への説明を行っている。新会社の設立後に新経営陣が経営計画を明確にした段階で、今後の雇用についても説明する予定である。現段階では何人減らすなどは決まっていない。従業員をないがしろにするようなことは考えていない。雇用の確保も十分考えていく。

角館総合病院の再診察の待ち時間の改善について

質問 再診察の指定時間を、15分単位にするなど、もっと小刻みに指定することで、待ち時間を短くすることに繋がらないか。また、待ち時間が長くなる患者様に対するお声がけを、こまめに行っているか。

答弁 (医療局長) 再診察の指定時間は、担当医が予約を行っている新患状況等を考慮して決めている。変更には、医師及び

関係部門との協議が必要であり、15分単位の指定が可能か検討したい。全体では、待ち時間の改善が図られているが、一部の診療科において、未だ待ち時間が相当に長い場合があることから、改善策を模索しながら、経営改善の一環として取り組んでいきたい。また、患者様へのお声がけについては、最も基本的で重要な患者様サービスである。待ち時間など、その時々状況をお伝えすることを徹底したい。

落合運動公園施設改修事業について

質問 平成29年度作成の基本設計について、コストダウンを反映した、令和4年度バージョンにするため、仙北市野球連盟と協議して、見直しを図り、現時点での概算工費を算定するよう、建設部に指示して欲しい。

答弁 基本設計の見直しにより、コストダウンに繋がれば、



令和7年開催の天皇杯までの改修が待ち望まれる落合球場

てくる可能性もあるので、設計見直しについて、建設部に指示する。

質問 現時点でいくらかかるかの資料を持って、議長を初めとする議員団と市長も一緒に、県と国にお願いに行きませんか。

答弁 いくらでも行く。土下座してお金が出れば、いくらでも土下座する覚悟である。是非、総力戦で可能性を追求したい。

(真崎寿浩記)

既存の学校再編の規模を
どの程度にしたいのか

蒼生会 武藤 義彦 議員



市長 具体的な計画は白紙であり市民の皆さまと共に検討する

市内小・中学校の適
正配置について

質問 今年度、学校適正配置準備室を設置し、令和8年度までに学校適正配置再編計画を策定する予定のようだが、この再編計画は地域の声を踏まえた計画になるのか。

答弁（教育長） 7月5日まですべての小学校区で、一般市民を対象に、現状と課題の説明と、市全体の学校の規模や配置のあり方について、意見交換を行う予定である。令和5年度からは、その実現に向け、手段としての統合も含みながら、市民の皆様と意見交換を重ねて具体化していきたい。統合する場合には組み合わせやその時期も含めた形で、令和8年度までに学校適正配置計画を作成したいと考えている。

質問 現段階で既存の学校再編の規模の考えはあるのか。

答弁（教育長） 教育委員会が、統合ありきで検討を進めるべきではないと考えている。具体的な計画は白紙であり、これから市民の皆様と共に検討していく。

質問 小・中一貫校や義務教育学校等を検討されたことは

あるのか。

答弁（教育長） 踏み込んだ調査検討は行っていないが適正配置に向けた方法の一つとして、今後情報収集する等、調査検討を行っていく。

花いっぱい運動の活動について

質問 花いっぱい運動の苗の配布の予算減額は、行財政計画の一環なのか。また、今後事業の打ちきりとなるのか。

答弁（教育長） 事業全体を考えた場合、ボランティアの減少、安全対策、苗の確保の仕方などの見直しがあればいい。

令和5年度以降を見据え、花いっぱい運動に係るあり方検討委員会を設置して、持続可能な事業の進め方について方向性を示したいと考えている。

なお、行財政改革の一環ではない。

食品衛生法改正に伴う清物加工事業者への対応について

質問 市内事業者の数や売り上げは把握できているのか。

答弁 事業者の数は把握できている。実態調査を実施し

たが、回答が少なく、正確な売り上げの把握は出来ていない。

質問 今後、設備投資も必要と思われるが、経営存続等の意向調査等は実施しているのか。

答弁 これまでは、設備投資を踏まえた経営存続調査までは実施していなかった。今後は、経営存続も含めて、加工施設整備の聴き取り調査を実施したいと考えている。

防災無線の不具合について

質問 防災無線の不具合の苦情が聞かれるが、その原因を把握しているのか。また、その対応策は。

答弁 桧木内の中継局のアンテナが雪で破損していることを確認しており、早急に修繕する予定である。災害等の緊急時は、市の広報車や消防団による広報などで情報発信を強化する。



■雪で破損していた桧木内地区防災無線中継所

質問 使用年数などにより、機器更新が必要な地域があるのではないかと。

答弁 田沢湖地区と西木地区は耐用年数が過ぎていますが、財源の問題があり更新できていない。様々な可能性を追求しながら、市民の皆さまには、しっかりとした情報を提供できるように検討していく。

（高久昭二記）

総務文教常任委員会

行政DX推進により市民に優しいデジタル化を目指す

6月定例会の総務文教常任委員会では、主に令和4年度一般会計補正予算及び生保内財産区特別会計補正予算が審査されました。タクシー・運転代行業者の支援や内陸線支援などの、国の交付金を活用した新型コロナウイルス対策事業費が計上されました。また、わらび座に委託しての教育事業に取り組みます。

用語解説 ・DXとは…デジタル技術を活用して良い方向に変化させること。
 ・LINE セグメント配信とは…それぞれのニーズにマッチした情報を LINE で配信する事。

令和4年度 総務部・教育委員会関係の一般会計補正予算 主な内容

行政DX推進事業費	135万円	LINE セグメント配信システム事業費
タクシー事業者支援事業費補助金	135万円	利用者減少のタクシー事業者に車両1台当たり5万円を補助
運転代行業事業継続支援事業費補助金	45万円	運転代行業者に車両1台当たり5万円を補助
秋田内陸線安全対策交付金	233万円	内陸線の燃料費及び構造物の保険料を秋田県及び北秋田市と共に補助する
美術館管理運営費	138万円	平福記念美術館の冷温水発生機の保守点検業務の変更に伴う増額
仙北市の文化資源を生かしたふるさと教育事業費	153万円	わらび座に委託しての演劇を通じた教育事業
仙北市学校給食応援事業費	2,512万円	小・中学校の給食費を無料にするための費用（7月～10月）

ここが知りたい 議論のポイント

令和4年度 一般会計補正予算の主な質疑

行政DX推進事業費について

質問 LINE登録者5,800人以上の中に高齢者の方がどれだけ登録されているか？

答弁 コロナワクチン接種予約を契機に公式LINEを立ち上げ友達登録をしてくれた方が今のところ5,800人を超えている。属性情報まで取得できる環境にはないが、市民アンケート等の中でデジタル配信による対応について、そうした環境にあるかなどの把握に努めていきたい。

質問 この事業を無駄にしないためにも、講習会等の開催などで事業の普及に繋がると考えるがどうか。

答弁 昨年度も公民館で行ったキャリアアソシエの無料講習会等、今年度も検討されているようなのでうまく活用する方法を考えていきたい。

平福記念美術館配管破損工事費について

質問 昨年も冷温水発生機の更新を行っているが、今回の増額補正の内容は？

答弁 当初予算要求後に検査項目を増やす必要が生じた。工事が進むにつれて今までの点検項目では点検できない場所が

あることがわかった。また、本体から配管として末端の排風口までの全体を点検してもらえる保守点検業務契約にする必要があることから増額補正となった。

仙北市学校給食費応援事業費について

質問 食材価格が高騰し給食食材費が現状の予算で、今年度は間に合うのか？

答弁 今現在の予算で提供できる給食を栄養教諭が懸命に考えている。来年度の方角を早めに考え、状況を見極めながら保護者に新たな負担をかけないように取り組んでいきたい。



■地元産の食材を使った子どもたちに人気の御狩場焼メニュー

市民福祉常任委員会

コロナ禍生活支援 子育て世帯へ生活支援特別給付金を支給決定 (ひとり親世帯及び住民税非課税世帯等)

6月定例会の市民福祉常任委員会では、主に令和4年度一般会計補正予算が審査されました。4回目のコロナワクチン接種費用や、子育て世帯への生活支援金、住民税非課税世帯等への生活支援金など、新型コロナ対策関連の補正予算が計上されました。

また、老健にしき園での床暖房温度調節用機器の修繕について審査されました。

令和4年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算 主な内容

新型コロナウイルスワクチン接種事業費	2,549万円	4回目のコロナワクチン接種経費
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	7,507万円	昨年度給付対象外だった住民税非課税世帯及び家計急変した世帯が対象
子育て世帯生活支援特別給付金	3,512万円	ひとり親世帯と住民税非課税世帯及び家計急変した世帯の子ども1人あたり5万円支給
消費生活総務費	279万円	消費生活係に会計年度職員を配属する経費
保育士・幼稚園教諭等処遇等改善臨時特例事業費	51万円	はなさき仙北、保育室ねむねむのき職員の処遇改善費用の追加分
予防事業費	943万円	風疹及び子宮頸がんの予防接種経費と新型コロナ抗体検査の増額分
市民浴場管理運営費	217万円	東風の湯の配管漏水修繕、塀の修繕及びセキュリティ強化のための防犯カメラ設置経費
塵芥処理費	57万円	今年度末まで処分が義務付けられているPCB安定器の処分・運搬経費

令和4年度 仙北市介護保険特別会計補正予算(第1号)の審査内容

老健にしき園の床暖房温度調節用三方弁の取替え	185万9千円
老健にしき園の調理機器及び血圧計の購入費	66万3千円

にしき園の床暖房機器の取替えについて

質問 床暖房機器の不具合はいつからか。快適な居住環境を維持するためには、当初予算に計上するべきではないか。

答弁 数年前から不具合があったが、同額程度の修繕が重なり、優先順位をつけていた。今回、コロナ対策の交付金等で歳入の見込みがたったため、補正予算に計上した。

賛成討論 予算は、適切な時期に要求し計上することが基本だと思う。財源がコロナとか、一切関係なく、入所者の生活に必要なものであり、当初予算に計上するべきものである。

今後は十分検討し対応していただきたい。との意見を附して賛成する。

◆市民福祉常任委員会では、慎重審査の結果、全会一致で原案可決とした。



■老朽化により修繕するにしき園の床暖房設備

住民基本台帳とのデータ

子ども291人のうち、

いた。

質問 住民税非課税世帯への臨時特別給付金や子育て世帯生活支援特別給付金のたびに、システム改修を委託しているが、もっと汎用性のあるシステム構築はできないのか。

答弁 ひとり親世帯以外の子どもも対象になるのか。

答弁 10月以降に、市の正職員も私立の職員と同じように処遇改善したいと考えている。国からの交付金の有無がはっきりした段階で検討を始めていく。

各種給付事業のシステム改修に係る委託料について

質問 住民税非課税世帯への臨時特別給付金や子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外分)の支給対象について

質問 市の保育士、幼稚園教諭の正職員に関して、今後も、働き方改革としての処遇改善は考えていないのか。

令和4年度 一般会計補正予算の主な質疑

ここが知りたい 議論のポイント

の照合等が必要になり、現状ではその都度、支給要件に見合ったアプリケーションにするなどの、システムを更新しなければ対象者の抽出等ができないため、改修の委託が必要になる。

市の子どもの急変世帯から申請があれば、適切に判定し支援できるような運用していく。

市の正職員の処遇改善はどうなるのか

産業建設常任委員会

3年連続 仙北市民プレミアム商品券& まるごとお土産券 発行

6月定例会の産業建設常任委員会では、主に令和4年度一般会計補正予算について審査しました。多面的機能支払交付金事業費、仙北市民プレミアム商品券事業費、文化・観光資源を活用した交流人口拡大事業費等が計上されました。

令和4年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算 主な内容

仙北市民雇用促進助成事業費補助金	125万円	50歳未満新規就業者1名5万円 移住者には10万円補助
多面的機能支払交付金事業費	304万円	農地の保土管理を支援。新規に下道・七ツ関資源保全会と赤平・西野環境保全会が結成（広域化により全体で52組織となる）
仙北市民プレミアム商品券事業費補助金	6,800万円	千円券13枚を1万円で購入 商工会で運営
2022 仙北市民プレミアム観光支援事業費	4,669万円	市外の人向けに5千円のお土産券を3,500円で購入 観光協会が運営
仙北市民伝統工芸品導入支援事業費補助金	300万円	購入金額の5分の1以内を補助（上限10万円）
一般都市計画総務費	79万円	火除け地復元検討委員会開催費等（今年度は3回開催予定）
都市計画基礎調査費	512万円	5年に1回の都市計画調査費
文化・観光資源を活用した交流人口拡大促進事業費	724万円	紅葉シーズンにたざわ湖スキー場や武家屋敷を会場にイベントを行い交流人口の拡大を目指す（わらび座に委託）

質問 新規事業のようだが、事業の内容について伺う。

答弁 紅葉シーズンに、たざわ湖スキー場を会場に1回40分程度のステージを、2日間で4回。武家屋敷を会場に4日間で8回行う。龍神まつり及び田沢湖マラソン開催時に、たつこ伝説を題材とした15分程度の公演を計4回行う事業で交流人口拡大を目指す。わらび座に委託する。

質問 コロナ禍でなかなか発表の場がない、地元の伝統芸能である飾山囃子や手踊り等の発表も取り入れられないものか。また、公演場所はスキー場、武家屋敷、田沢湖畔としているが具体的にどこでやるのか。天候対策はどのようにしているのか。観劇料は有料か無料か。財源はどうするのか。

答弁 財源は、ふるさと仙北応援基金を充てる。観劇料は無料である。スキー場は銀嶺ハウス前、武家屋敷はポケットパーク、田沢湖畔は田沢湖マラソン特設会場を予定している。雨天時の対応は検討していく。地元の伝統芸能も取り入れられるようにしたい。

質問 コロナ禍でなかなか発表の場がない、地元の伝統芸能である飾山囃子や手踊り等の発表も取り入れられないものか。また、公演場所はスキー場、武家屋敷、田沢湖畔としているが具体的にどこでやるのか。天候対策はどのようにしているのか。観劇料は有料か無料か。財源はどうするのか。

答弁 財源は、ふるさと仙北応援基金を充てる。観劇料は無料である。スキー場は銀嶺ハウス前、武家屋敷はポケットパーク、田沢湖畔は田沢湖マラソン特設会場を予定している。雨天時の対応は検討していく。地元の伝統芸能も取り入れられるようにしたい。

質問 コロナ禍でなかなか発表の場がない、地元の伝統芸能である飾山囃子や手踊り等の発表も取り入れられないものか。また、公演場所はスキー場、武家屋敷、田沢湖畔としているが具体的にどこでやるのか。天候対策はどのようにしているのか。観劇料は有料か無料か。財源はどうするのか。

答弁 財源は、ふるさと仙北応援基金を充てる。観劇料は無料である。スキー場は銀嶺ハウス前、武家屋敷はポケットパーク、田沢湖畔は田沢湖マラソン特設会場を予定している。雨天時の対応は検討していく。地元の伝統芸能も取り入れられるようにしたい。

令和4年度一般会計補正予算の主な質疑
議論のポイント

文化・観光資源を活用した交流人口拡大促進事業費について

令和4年度仙北市民プレミアム商品券

販売価格(1冊) **10,000円** (13,000円分)

発行総額 2億6,000万円(20,000冊)

有効期限 令和4年8月5日～令和4年12月31日

申込資格 仙北市民に住民票のある方

申込上限数 1人4冊、1世帯12冊です。

申込方法

- 【申込期間】令和4年7月1日～7月15日(消印有効)
- ※本チラシ付属の申込はがきでお申込ください。
- ※申込受付数が発行総数を超過した場合は抽選とし、当選者には購入引換券を送付します。(8月1日付発送予定)

購入(引換)期間 令和4年8月5日～8月31日

- ※市内3カ所で購入引換券を回収します。(仙北市民商工会本支所、出張所)
- ※持参いただいた購入引換券及び現金と商品券を引換します。なお、購入引換券を紛失した場合、再発行は行いませんので大切に保管してください。
- ※購入(引換)期間を過ぎると購入引換券は無効となりますのでご注意ください。

取扱加盟店 仙北市民商工会ホームページ(<https://www.gocopi.jp/sib-05-02>)または、仙北市民プレミアム商品券事務局までお問い合わせください。

田沢湖・角館

まるごと

仙北市民プレミアム

お土産券

お得に楽しもう！

仙北市民をまもる

■ 1人4冊、1世帯12冊まで購入できるプレミアム商品券

■ お土産店や観光施設などで使える市外の人向けのお土産券

仙北市新規採用職員の初めての議会を傍聴しての感想

6月定例会では市役所研修の一環として、新規採用職員の方々が議会を傍聴しました。今回は、3名の職員の感想をご紹介します。

建設部 建設課

主任 小松 翔しゅう

市民福祉部 社会福祉課

主事 佐藤 真優まゆ

農林商工部 農林整備課

主事 仙波 吏つかさ

研修参加前の市議会の一一般質問に対する印象は、「市の政策に対して市議会議員が質問を行う場」といった漠然としたものであった。私自身今まで議会を傍聴する機会が無かったというのも一因である。しかしながら、今回初めて議会を傍聴し、議会に対する印象が参加前より具体的に変わったと感じている。

市民のみなさまの代表として選挙で選ばれた各議員の一般質問、その質問一つ一つは仙北市のみなさまの声を市政に届けるため、仙北市の市民のみなさまがより良い生活を送ることを目指した質問、言い換えれば「声」であるという印象を受けた。議事会中の田口市長の言葉「仙北丸の船底には穴が空いている」状況を考えれば、すべて声に答えるのは難しい事かもしれない。しかし、市長を始め各担当部署からの答弁からは、可能な限り声に応えたい、応えようとしているという印象を受けた。

今回の研修は、今後、市民のみなさまの声に答えることにつながるような仕事をしていきたいと思うきっかけになったと感じている。

議会の一一般質問を傍聴することが初めてだったため、大変貴重な経験となった。議員の方々の質問により、課題を新たな視点から考えるきっかけになり新しいアイデアが生まれるきっかけになったりすることが分かった。そのような効果が期待できるため、仙北市をより良くするためには一般質問の機会が必要だと改めて感じた。

また、仙北市を思う気持ちから熱い意見交換が行われていると感じ、様々な視点から物事を見るのが意見・疑問が出てくる要因になっているのではないかと考えた。私も常日頃から多角的な視点で物事を見るよう意識し、仙北市をより良くするために自分ができることを考えていきたいと思う。

仙北市役所の職員としては様々な角度からされる質問に対して、質問に合った回答をすることの素晴らしさを感じた。事前準備の他に、知識が備わっていないと相手が満足する回答をすることができないため、業務をする中で疑問や分からない点を解決しておく必要があると感じた。

今回の一一般質問傍聴研修に参加して業務とは違う緊張を感じました。5月に行われた新人研修で議会について映像や資料を見て勉強しましたが、実際に聴いてみると席の近さやスクリーンの大きさなど自分の想像とは全く違いました。今回は門脇議員と熊谷議員の一般質問を傍聴し非常に勉強になりました。

門脇議員の一般質問で印象に残った事は、ヤングケアラーについてです。この言葉は去年の「新語・流行語大賞」にノミネートされておりニュースでも報道されていたので以前から知っていました。門脇議員の説明でもあった「昔は親の代わりに買い物に行くことは徳のある人」について共感でき、私も18歳未満の子供がヤングケアラーに該当するかの判断は難しいと思いました。

熊谷議員の一般質問で印象に残った事は、自然ふれあい温泉館の営業時間の見直しについてです。先日放送されたバラエティー番組に仙北市の温泉が紹介されており、全国的に見ても有名なことが改めて分かりました。仙北市の観光に欠かせない温泉の営業時間が4時までで短いという指摘に対して、市長の回答で指定管理の手が上がらない、会計年度職員の時給、経費など問題点を聞いて納得でき、解決までに時間がかかると感じました。

今回の研修に参加して、市民の声や仙北市の課題を深くまで知ることが出来ました。今後はこのような情報に耳を傾けて業務に取り組みでいきたいです。

市議会常任委員会構成決まる

◎委員長 ○副委員長

〔総務文教常任委員会〕

◎門脇晃幸 ○田口寿宜
西宮三春 真崎寿浩
高久昭二

〔議会改革推進協議会〕

◎荒木田俊一 ○平岡裕子
小田島広仁 中村和彦
武藤義彦 青柳宗五郎
真崎寿浩

〔市民福祉常任委員会〕

◎高橋輝彦 ○澤田雅亮
熊谷一夫 荒木田俊一
小林幸悦

〔大曲仙北〕

〔広域市町村圏組合議員〕
黒沢龍己 青柳宗五郎
荒木田俊一 武藤義彦

〔産業建設常任委員会〕

◎武藤義彦 ○平岡裕子
小田島広仁 中村和彦
青柳宗五郎

〔秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員〕

黒沢龍己

〔予算常任委員会〕

◎真崎寿浩 ○澤田雅亮
他全議員

〔議会選出監査委員〕

小林幸悦

〔議会運営委員会〕

◎田口寿宜 ○高久昭二
澤田雅亮 門脇晃幸
武藤義彦 高橋輝彦
荒木田俊一

〔仙北市林活議員連盟及び仙北市観光振興議員連盟役員〕

会長 青柳宗五郎
副会長 武藤義彦
事務局長 平岡裕子

〔議会広報編集特別委員会〕

◎荒木田俊一 ○高橋輝彦
西宮三春 小田島広仁
中村和彦 澤田雅亮
平岡裕子 真崎寿浩
高久昭二

〔仙北市高速交通網整備促進議員連盟役員〕

会長 黒沢龍己
副会長 熊谷一夫
幹事長 田口寿宜

初議会を終えて

西宮 三春

初議会を経験し、より良い仙北市のために議論を重ねている場に立ち、責任の重さを感じました。女性の持つ視点が活かされるよう、今まで以上に市民の皆さまと語り合い、その声を大事にし、より身近な議会となるよう努力して参ります。

皆さまと一緒に、「おらほの仙北市最高だ！」と自慢したくなるような地域を作りたいです。

この4年間で主婦でも議員活動ができることをお見せし、次の女性候補の勇気に繋がるよう、頑張ります。

小田島 広仁

皆様のご支援により、市議会で働かせて頂くことになり、改めて感謝申し上げます。

緊張の毎日ではありましたが、先輩議員、職員の方々から、たくさんの事をお教え頂き、臨時議会、定例議会を無事に終えることができました。

この二ヶ月で当市の課題を再認識し、やらなければならないことが見えてきました。

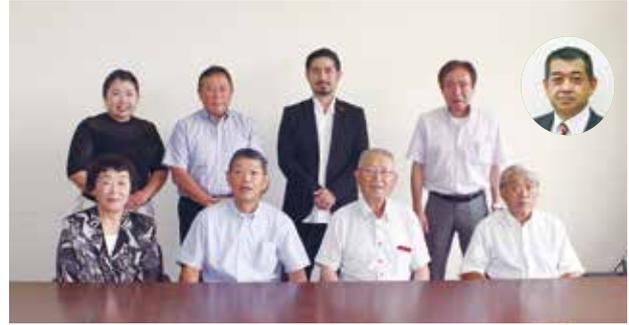
そのためにも、たくさんの方々とお話をし、お知恵を貸してもらい、勉強していく必要がありますので、今後ともよろしくお願いいたします。

中村 和彦

市民の皆様の多大なるご支援により仙北市議会議員として活動の場を頂く事が出来ました事に感謝を申し上げます。数年前までは、市役所職員として、参与席で議員の皆様と議論しておりましたが、初議会では、何か変な感覚があったなど記憶しています。新米議員として、課題解決のために皆様の声をしっかりと聞き、共に考え行動し、次世代に誇れる住みよいまちづくりに向かって頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

広報編集特別委員会

新人議員3名が加入した新たなメンバーで市民の皆さまに親しまれる広報活動に励みます！



人事案件（敬称略）

副市長

赤上 陽一（62歳）

秋田大大学院鉱山学研究所（工学博士）
秋田県産業技術センター所長など歴任
※現在は田沢湖生保内に単身赴任

田沢財産区管理委員

築田 正（66歳）

仙北市田沢湖田沢字沼田106【再任】

田沢財産区管理委員

伊藤 聡（60歳）

仙北市田沢湖田沢字鏡畑210【新任】

※6月30日付、任期満了で退任されました前副市長の倉橋典夫氏は、仙北市の政策支援アドバイザーとして、週に1回程度勤務されることになりました。

稲田 修前議員 全国市議会議長会表彰受賞

25年永年勤続表彰状が
黒沢議長から手渡される



■永い間お疲れさまでした！
いつまでもお元気で！

編集後記

改選後、初めて発行の議会広報ですが、これまで読む側であったが、読んでいただく立場になった新人議員、何度も発行に携わってきたベテラン議員も、それぞれの思いを的確につかみ、伝え、理解をいただくことの難しさは変わらない。

今回の市議会議員の投票率は70%を切ってしまった。どうしたら市民に関心を持ってもらえるのか。

まずは議会が身近に感じ、関心を持っていたら、き、親しまれる広報活動ができるよう、委員が力を合わせて紙面づくりに励みます。

読者である市民の方々からも、感想や、ご意見を頂ければより良い紙面になると思いますので、ご協力をお願いいたします。

議会広報編集特別委員会
委員長 荒木田 俊一